

## 鉄道のあゆみと銘板コーナー

鉄道車両の在籍・製造会社・車両番号や鉄道橋の製造会社、列車の行き先表示板(サボ)、などを展示しています。



### 深戸橋梁・製造銘板

1983年(昭和58年)11月20日に日本初の落下式工法で架け替えられた磐越西線の日出谷～鹿瀬間にある阿賀野川に架かる深戸橋梁桁にとりつけられていたものです。旧橋梁桁は1912年(大正元年)アメリカ製。全長90.68m、重量431トン。

### 平瀬(びょうせ)トンネル碑

磐越西線日出谷～鹿瀬にある全長2,006mのトンネルで1914年(大正3年)11月に開通した。工事をしていた当時、日本の鉄道を標準軌に改軌する計画が具体化していた為に標準軌の規格で作られています。(改軌計画は実現しなかったため従来軌間で敷設されています。)また、当時の鉄道院総裁、後藤新平が揮毫(きごう)した石碑がトンネル入口の上面に掲げられています。石碑には東口「焉興蔵宝」西口「焉殖財貨」の文字が刻まれています。「今まで眠っていた宝の蔵が開かれ、貨物財産を増やす事ができる」と記して、開通の功得を詠っています。



### ステーション時計

この時計は昭和10年10月30日米坂線小国駅開業の際に備えられたものです。文字盤の13から24までの赤数字は昭和17年11月に24時間制を採用した際に記したもので、同時に時間表は「時刻表」と現在の呼び方になりました。

